

# 第 63 回 通常 総 会 議 事 録

東京都新宿区津久戸町 4 番 6 号  
公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

日 時：令和 4 年 5 月 27 日（金） 15:30～16:55  
場 所：東京都千代田区九段北 4-2-25 アルカディア市ヶ谷（私学会館）  
オンライン開催（<https://jpci.webex.com/>）

## 1. 開 会

西垣専務理事が開会を宣言し、出席正会員は委任状とも 1,297 名で、定款第 17 条に規定する、正会員総数 2,463 名の 2 分の 1 以上の出席を得ているので、本総会は成立する旨報告があった。なお、正会員 17 名がウェブ会議システムにより出席した。

## 2. 出席役員

会長：阿波野昌幸、副会長：下村 匠、三島康造、専務理事：西垣義彦、  
理事：井上 晋、大信田秀治、大西睦彦、春日昭夫<sup>○</sup>、勝木 太<sup>○</sup>、  
岸本一藏、佐藤忠宏、佐藤靖彦、左東有次、丹野 弘、並川賢治、  
西山峰広、深井 悟、前田晴人、八木恵治の各理事  
監事：上杉泰右、大村一馬、松原喜之  
顧問：二羽淳一郎

注) ○印は、ウェブ会議システムによる出席者を示す。

## 3. 阿波野会長挨拶（要旨）

第 63 回通常総会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染状況がなかなか収束する状況になっておらず、本日の総会是对面出席を役員および関係者に限定し、昨年に続きオンライン形式による開催とさせていただきます。

昨年 5 月に会長を拝命してから早 1 年が過ぎた。この 2 年あまり皆様におかれては今までに経験をされたことがない日々が続いている。世界中でのコロナ感染拡大が及ぼした影響は、各企業の活動、個人・家庭の日々の生活、を大きく変え、社会経済にも大きな影響を与えた。一方、テレワークの広がり、会議等のオンライン化により、利便性が高まった一面がある。ウェブ会議は本工学会の理事会や委員会でも多く採用されるようになった。

そういった中で、昨年 6 月の P C 技術講習会および 10 月の P C シンポジウムがオ

ンデマンド配信での開催となったことは残念な事でもあった。本年6月開催のPC技術講習会もオンデマンド配信となるが、10月の松江市でのPCシンポジウムは皆さまに現地会場に集まっていただけるよう準備を進めている。活発な議論が行われ、PC技術者の交流が深まることを期待している。

昨今の社会を取り巻く状況は、少子高齢化、人口減少が進み、厳しい財政状況のもと、インフラ構造物の老朽化や近年頻発する大規模自然災害を背景に、安全で安心なインフラの整備、維持管理・更新が求められている。プレストレストコンクリートの技術は、新材料、新技術やICTなど関連技術を取り込みながら、持続可能な社会に大いに貢献できると確信している。生産性の向上、長寿命化、環境負荷低減、防災・減災にもっと活用されるよう、技術規準類の整備、技術情報の発信を図っていかねなければならない。

また、個人の思いとして、建築分野にもっとPC構造を広めることに努めていきたい。ロングスパンのコンクリート構造というだけでなく、プレキャストを採用したデザインされた魅力的なPC建築が産み出されることを願っている。これには、建築家と言われる意匠デザイナーのPC構造への理解が必要である。建築家の卵といえる学生にはPC建築の魅力を伝えていかなければならない。

本工学会の課題の一つに、若手の設計者や技術者の入会増強、学生会員の入会増強という課題がある。会員増加推進小委員会を立ち上げ入会増強を図っているが、これには是非、会員の皆様のお声がけによるご協力をお願いする次第である。

さて、本工学会は、国際組織である *fib* に日本コンクリート工学会とともに日本を代表して参画している。4年に一度の *fib* コングレスが6月12日からノルウェイのオスロで開催される。本工学会理事でもある春日昭夫氏が *fib* 会長を務められ、コンGRESでは持続可能な社会の発展に向けて貢献できるよう春日会長の力強いメッセージが発信されるものと期待している。

現在、ウクライナではロシアの侵略行為でインフラや建築物が破壊されている映像を目の当たりにしている。ただただ、恐怖と悲しみの気持ちがあふれてくる。多くの亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、一刻も早く侵略行為が終結し、平和な世界に戻ることを切に願っている。

会員の皆さまにおかれては、コロナ感染なども含め、健康に十分に留意され、益々ご活躍されることを祈念するとともに、本工学会へのご支援をお願い申し上げます。

本日は令和3年度の事業についてご審議を賜り、併せて議事の進行にご協力の程をお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

#### 4. 議長選出

西垣専務理事から本総会の議長は定款第15条により、会長がこれに当たるとの説明があり、阿波野会長を議長とした。

## 5. 議事録署名人の指名

議長発言にて、定款第19条の規定では、議事録署名人は、議長および議長が指名する出席者2名以上としている旨、説明があり、次の両氏が指名された。

下村 匠氏                      三島康造氏

## 6. 議 事

### 第1号議案 令和3年度事業報告

議長より三島副会長が指名され、本日配布の議案説明が行われた後、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

### 第2号議案 令和3年度収支決算報告

議長より西垣専務理事が指名され、まず令和3年度収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、および財産目録に関し説明があった。

さらに、大村監事から監査の結果、何れも適正且つ妥当であった旨の監査報告、ならびに本決算報告について茂利公認会計士のご指導を受けたとの報告があり、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

### 第3号議案 役員改選

議長より本工学会の役員の改選については、毎年約半数の改選が行われ、新任ならびに再任役員の選任については、総会の承認を要する旨の説明があった。

すなわち、本通常総会の終結をもって理事阿波野昌幸、井上 晋、大信田秀治、岸本一蔵、齊藤成彦、佐藤忠宏、下村 匠、中村 光、西垣義彦、深井 悟、前田晴人、三島康造、八木恵治および監事上杉泰右の任期が満了し、また理事太田 誠氏、大西睦彦氏および丹野 弘氏より辞任の申し出があったため、次に示す表により理事および監事を選任したい旨を議場に諮った結果、満場一致で承認議決された。

なお、新任理事の中野元裕氏、細谷 学氏、渡辺博志氏は、辞任理事の大西睦彦氏、太田 誠氏および丹野 弘氏の後任として、任期は残任期間となる。

新任・再任役員				継続役員			
理 事	太 田	義 弘	(新任)	理 事	春 日	昭 夫	
同	奥 谷	祐 介	(新任)	同	勝 木	太	
同	九 富	理	(新任)	同	佐 藤	靖 彦	
同	中 野	元 裕	(新任)	同	左 東	有 次	
同	細 谷	学	(新任)	同	玉 井	真 一	
同	渡 辺	博 志	(新任)	同	並 川	賢 治	
同	阿波野	昌 幸	(再任)	同	西 山	峰 広	
同	井 上	晋	(再任)	監 事	大 村	一 馬	
同	大信田	秀 治	(再任)	同	松 原	喜 之	

同	岸 本 一 藏 (再任)
同	齊 藤 成 彦 (再任)
同	佐 藤 忠 宏 (再任)
同	下 村 匠 (再任)
同	中 村 光 (再任)
同	三 島 康 造 (再任)
同	八 木 恵 治 (再任)
監 事	花 島 崇 (新任)
辞任理事	太 田 誠
同	大 西 睦 彦
同	丹 野 弘

議長発言にて、続いて行う第1号報告の令和4年度事業計画および第2号報告の令和4年度収支予算については、3月15日に開催した第652回理事会において、審議の上、承認されている旨、報告があった。

#### 第1号報告 令和4年度事業計画

議長より下村副会長が指名され、令和4年度事業計画の説明があり、了承された。

#### 第2号報告 令和4年度収支予算

議長より奥谷事務局次長が指名され、令和4年度収支予算書に関し説明があり、了承された。

### 7. 名誉会員推挙

議長より、本会ならびにプレストレストコンクリート技術の普及と進歩発展のため、長年にわたり功績を残された方を名誉会員に推挙しているとの説明があった。本年度の候補者として石原重孝氏、宇治公隆氏、二羽淳一郎氏および林三雄氏が披露され、総会に諮った結果、満場一致で名誉会員への推挙が承認された。

### 8. プレストレストコンクリート工学会賞授与

令和3年度プレストレストコンクリート工学会賞の授与について、工学会賞選考委員会井上委員長から、令和3年度工学会賞選考理由について説明がなされた。

#### ○論文賞（賞状と記念品）

- コンクリート表面のひずみとひび割れ幅の計測に基づく

P C 桁の残存緊張力の推定手法の開発

(会誌第63巻5号)

恒 國 光 義 殿

加 藤 佳 孝 殿

石 塚 健 一 殿

長 谷 俊 彦 殿

- 膨張コンクリートを用いたCPC梁の膨張分布と力学的性状（総合題目）  
 (会誌第62巻6号、63巻1号)
- 辻 幸和 殿  
 栖原 健太郎 殿  
 李 春鶴 殿  
 小竹 弘寿 殿

○作品賞（賞状と記念盾）

（土木部門）

- 別埜谷橋  
 西日本高速道路(株) 殿  
 三井住友建設(株) 殿
- 阿蘇大橋  
 国土交通省 九州地方整備局 熊本復興事務所 殿  
 大成・IHIインフラ・八方地域維型JV 殿
- 北陸新幹線 細坪架道橋  
 (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北陸新幹線建設局 殿  
 (株)千代田コンサルタント 殿  
 鹿島・オリエンタル白石・本間・北都特定建設工事共同体 殿
- ケラニ河新橋 パッケージ2  
 スリランカ国 高速道路省 道路開発庁 (RDA) 殿  
 (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル 殿  
 三井住友建設(株) 殿

（建築部門）

- 岩国市立東小・中学校  
 岩国市 殿  
 (株)石本建築事務所 殿  
 (株)カシワバラ・コーポレーション 殿  
 オリエンタル白石(株) 殿
- 国立競技場  
 (独)日本スポーツ振興センター 殿  
 大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体 殿  
 大成建設(株) 東京支店 殿

（改築・改修部門）

- 阪神高速12号守口線の床版更新  
 —UFC床版の適用による機能の回復と向上—  
 阪神高速道路(株) 管理本部 殿  
 鹿島建設(株) 殿

○技術開発賞（賞状と記念盾）

- PC有孔梁の既製品開孔補強金物による開孔補強工法  
 丸田 誠 殿

(ダイヤレンPC工法)

(株)ピーエス三菱 殿  
オリエンタル白石(株) 殿  
(株)建研 殿  
コーリョー建販(株) 殿

○施工技術賞（賞状と記念盾）

● 新東名高速道路 中島高架橋工事

中日本高速道路(株) 東京支社 殿  
(株)大林組 殿

9. 閉 会

西垣専務理事が閉会を宣し、第63回通常総会は滞りなく終了した。

令和4年5月27日

公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

議長・会長 阿波野 昌 幸 ㊟

署 名 人 下 村 匠 ㊟

署 名 人 三 島 康 造 ㊟